

事業所名

弘前草右会児童発達支援事業所おひさま

## 支援プログラム

作成日

令和7年

10月

1日

|           |   |   |         |  |   |  |
|-----------|---|---|---------|--|---|--|
| 法人（事業所）理念 | 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、社会福祉事業を行う。 |   |         |  |   |  |
| 支援方針      | お子さま一人ひとりに合わせたプログラムでのびのびと、そしてたくさんの笑顔があふれる場所を提供していきます。   |   |         |  |   |  |
| 営業時間      | 8時  | 15分から   | 17時     | 0分まで   | 送迎実施の有無<br><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし |  |
| 支 援 内 容   |   |   |         |  |   |  |
| 本人支援      | 健康・生活   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ライフスキルトレーニング（LST）：身だしなみや食事マナー、排泄の自立等、生活上のスキルを習慣化し自立した生活ができるようサポートします。</li> <li>○健康管理：健康チェック、病気予防を徹底とともに一人ひとりの健康状態を把握します。</li> <li>○安全教育：交通安全や避難訓練を通じて、日常の安全意識を高め周知していきます。</li> <li>○生活リズムの確立：ご家族の協力を得ながら、規則正しい生活を促します。</li> <li>○情緒の安定：お子様の特性に配慮し、時間や空間を分かりやすく構造化し、見通しを持って取り組める環境設定をします。</li> </ul>   |         |  |   |  |
|           | 運動・感覚   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○広い場所での粗大運動を中心としながら、体全体のバランスを見ていきます。個の課題を見つけながら、協応動作や腕指示運動、脚力強化、体幹強化、平衡感覚などを育み、その後の微細へ繋げていきます。また、発語の弱い子には、体をしっかり動かし発語を促すなどの要素を取り入れて行います。</li> <li>○机上遊びでの微細運動、ビジョントレーニングなどを行い運動面と連動させることで、姿勢の保持へのアプローチも行っています。また感触あそびなどと関連付け、色彩感覚など行います。</li> <li>○感触遊びを行い、感覚刺激を入れていきます。感覚過敏、感覚鈍麻への刺激も行い、幅広い遊びへ繋げていきます。</li> </ul>                                 |         |  |   |  |
|           | 認知・行動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○モチベーションの向上：スマールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけられるよう支援します。</li> <li>○認知スキルの向上：物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間時間等の概念の形成を図ることによって、それぞれを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。</li> <li>○社会的スキルの育成：集団活動や役割遊びを通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。</li> <li>○学習支援：個別課題に臨む気持ちづくりを中心に学習スキルを強化します。</li> <li>○自己調整スキル：感情の認識とコントロール、視覚化で伝え、自己調整能力を高めます。</li> </ul>                      |         |  |   |  |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○大人と一对一の関わりから子ども同士の関わりや交流を通して、人と関わる楽しさを感じながら自分の表現方法で伝えて行けるよう支援します。</li> <li>○具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言葉の習得、自発的な発語を促す支援を行います。</li> <li>○話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。</li> <li>○人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。</li> <li>○ジェスチャーや表情、アイコンタクトなどを用いて、環境の理解と意志の伝達と受容ができるよう支援します。</li> </ul> |         |  |   |  |
|           | 人間関係<br>社会性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○愛着行動の形成：人との関係を意識し、身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人との安定した関係を形成するための支援を行います。</li> <li>○模倣行動の支援：遊び等を通して、人の動きを模倣する力を身につけ、順番や物の貸し借りなど社会ルールを学んで行けるよう支援します。</li> <li>○共同遊びへの支援：感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びや、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。</li> <li>○集団参加：手順やルールを理解して、遊びや活動に参加できるよう支援します。</li> </ul>  |         |  |   |  |
| 家族支援      |   | ○家庭や園の様子を共有する時間を設け、療育活動での関わりに活かしていきます。<br>○面談とモニタリング：必要に応じて面談やモニタリングでお子様の成長や課題について保護者様と話し合い子育てをサポートします。<br>○情報提供：情報や支援方法を共有し、ご家族様の知識を深めます。<br>○家庭での支援方法の提案：家庭で行える課題のプランや行動管理の方法を提案し、家庭でも継続的にお子様を支援できるようサポートします。<br>○相談窓口の設置：いつでも相談できる環境を提供します。  | 移行支援    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○園への見学や会議の開催、個別支援計画書での情報共有。</li> <li>○就学に向けての相談対応や情報提供、就学前との情報共有。</li> <li>○保育所等訪問支援との連携。</li> </ul>                            |   |  |
| 地域支援・地域連携 |   | ○相談支援事業所との連携、個別支援計画書での情報共有。<br>○他事業所との情報共有。<br>○医療機関等との連携。  | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な発達支援に関する事業所内研修開催。</li> <li>○法人主催の集合研修。</li> <li>○地域での研修や専門的な外部研修受講、交流会参加の案内。</li> <li>○虐待、身体拘束防止、感染症等の定期的な研修受講。</li> </ul> |   |  |
| 主な行事等     |   |   |         |  |   |  |